



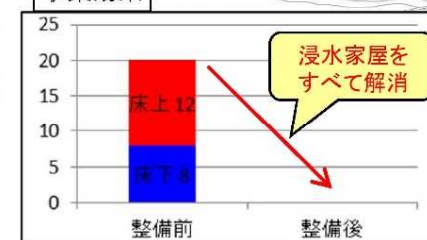
平成29年7月5日～6日の線状降水帯に伴う豪雨により、小野川流域では、災害関連事業区間において床上浸水12戸、床下浸水8戸が発生、災害関連事業上流区間では、大規模な山腹崩壊が発生し、7戸が倒壊、大量の土砂による天然ダムが形成され10戸が浸水しました。また、並行する県道が約10日間全面通行止めとなり、集落が孤立するなどの甚大な被害が発生しました。

そのため、河川災害関連事業により、令和2年度の完成を目標に、河道掘削や護岸工等に着手し、施設の復旧と浸水被害の解消を図ります。

平面図



事業効果



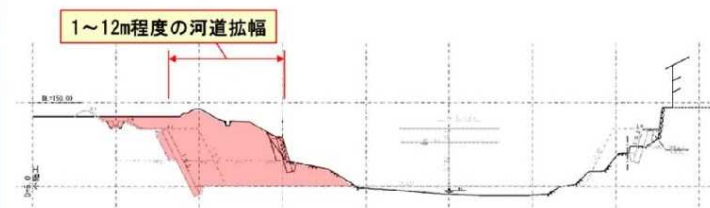
①



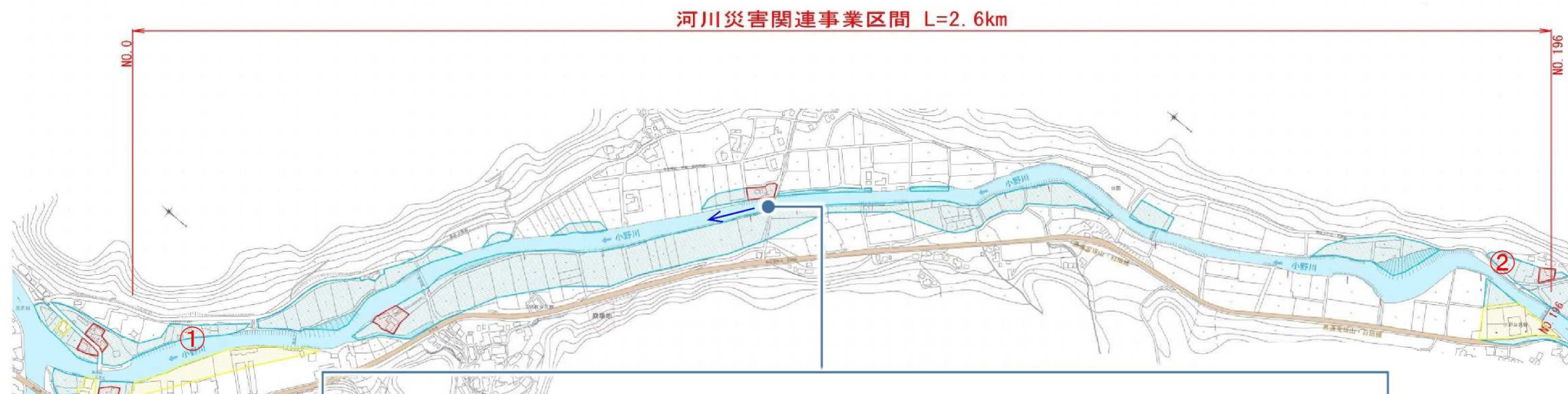
②



横断面図







右岸崩壊による被害状況



右岸崩壊による被害状況



現在の状況（護岸整備）



現在の状況（護岸整備）

